

特殊詐欺からみんなを守るために

広島県呉市立和庄中学校 2年 余語 花穂



「オレオレ詐欺」という名の犯罪が定着してから何年になるのでしょうか。今では数えきれないほどの様々な特殊詐欺が横行しています。テレビや新聞、町中のポスターなどで特殊詐欺に注意するよう呼びかけられていますが、それでもなくなることはないようです。なぜ、特殊詐欺はなくなるのでしょうか。

私の身近にも特殊詐欺に遭遇した事例が挙げられます。私には二人の祖父がいますが、驚くことに、その二人ともが特殊詐欺に遭い、危うく現金をだまし取られるところでした。

一人の祖父は息子になりすました人間から連絡があり、「会社の小切手を紛失したから、急ぎでとりあえず現金三百万円を貸してほしい。」と言われたそうです。冷静に考えれば内容から詐欺だとすぐに気付きそうなものですが、祖父はきっと慌てていたのでしょう。そして、祖母が留守中だったので、一人で判断してしまったようです。祖父は急いで銀行へ行きました。が、現金を引き出す際に銀行員の方が気付いて、家族の誰かに連絡して確認するよう声をかけて下さり、詐欺だと分かったとのこと。祖父はいつも「俺は特殊詐欺には絶対引っかからない。」と言っていますが、簡単に引っかかってしまいました。

もう一人の祖父もほぼ同様の手口で特殊詐欺に遭いました。この祖父も動揺していて、更に、祖母が外出中だったので、誰にも相談せず一人で判断してしまいました。こちらもまた、銀行の壁に貼ってある特殊詐欺を注意喚起するポスターを見てふと気付き、現金をだまし取られずに済みました。祖父は「気を付けていたのだけ。」と言っています。

今年、テレビのニュースで見た特殊詐欺にあったおばあさんの話です。孫から現金を貸してほしいという連絡があり、急いで郵便局へ現金を引き出しに行く際、タクシーに乗りました。そのタクシーの運転手さんがおばあさんの話を聞き、特殊詐欺だと疑い、おばあさんを何度も説得しました。が、おばあさんは詐欺師の話の方を信じて、タクシーの運転手さんの話の方は信じませんでした。その後、郵便局員さんも詐欺に気付き、説得してくれたおかげでおばあさんは娘に連絡をして犯罪を未然に防ぐことができたとのことでした。

世の中でこれほど特殊詐欺に注意するよう呼びかけられているにもかかわらず、そして大抵みんなが気を付けていることなのに、焦りと自分一人の判断で簡単にだまされてしまうことが分かります。専門家によると、特に高齢者の方は相談する相手や手段が少なく、一人の説得では耳を傾けないことが多いので、だまされやすいとのこと。

一方、母は「請求書は届きましたか。」という不審な電話がかかってきたり、携帯電話に得体の知れない請求のメールが届きましたが、じっくりと内容を確認したり、父に相談したりしてすぐに詐欺だと分かりました。

このように、いつでもどこでも誰にでも特殊詐欺に遭う可能性はあります。特殊詐欺は多種多様で、犯人側は非常に巧みな方法、新しい手口、話を信じ込ませたり、焦らせたりするというような人の心理をよく知っています。そして、残念ながら今のところ、詐欺師はこの世からいなくなることはありません。そこで、詐欺師に勝つために大事なことは、慌てず急がず、必ず誰かに相談するということです。どんなことでも一人で判断せず、家族や友達、地域の人たち、公共の窓口など気軽に話せる相談できる人や場所がみんなにあることが重要で、銀行や郵便局の協力も必要です。そして、自らが積極的に多くの人と関わり、その関わりを大切にすることこそが特殊詐欺を防止する方法なのではないかと思います。